

市民の文化にスポットライト

ぶんかのみ



ぶんかのみ vol.11

こんどう・ゆき 割谷市出身。亀城小学校、刈谷南中学校、明和高校、東京藝術大学、パリ市立音楽院を卒業。スコラ・カントルム音楽院(パリ)にて最高成績でコンサート・ディプロムを取得。数多くの国際コンクールにて第1位受賞。日本芸術センター年間最優秀ピアニスト賞、2度受賞。フランスにて多数のリサイタルを開催。人名事典「日本の演奏家」に収録される。



ピアニスト
近藤由貴氏

独自のスタイルを持つ、私のピアノ

「4歳からピアノを始めました。ピアノは大好き、でも練習は苦手でした。コンクールもイベント感覚で出場していましたが、中学生から真剣に音楽の道を志すようになり、東京藝大に進学をしました。その後憧れの先生がいるフランスで学びたい!と強く思い、大学卒業後フランスへ留学しました。2008年のデビューリサイタル後、本格的に演奏活動を開始し、現在はヨーロッパや日本国内で演奏活動をしています。2010年5月、刈谷市総合文化センターで初リサイタル以来、今年5月またこのホールで演奏する機会をいただき、地元刈谷で演奏できることを大変嬉しく感じています。今後も場所を問わず、お声をかけていただければどんな所でも演奏していきたいです。また、10年前から、ロシアの作曲家ニコライ・カプースチンの作品が好きで演奏をしています。先日初めて待望のCDを発売しました。(フランス国内のみ販売)、今後日本国内での発売も検討しています。海外のコンクールに出場した時に、『私の演奏は1度聴いたら忘れない!独自のスタイルがある』とお褒めの言葉をいただきました。ステージで演奏する時、無心で雑念はありません。自分自身のスタイルを確立し、今後も演奏の場を広げていきたいです。」

言葉を選びながら、誠実に想いを語る姿がとても素敵なお藤さん。今年の秋頃、日本国内での演奏を予定しているそうです。お藤さんの好きな刈谷の風景は、「自宅近くの亀城公園」だそうです。オフィシャルサイトでは今後の活動予定と、彼女の素晴らしい演奏を聴くことができます。是非ご覧になってください。【担当:柳原・井野】

■近藤由貴オフィシャルサイト <http://yuki-kondo.net/>
■詳細は、文化工房かりやのブログ [<http://bkkariya.wordpress.com/>]で!



【ステージナウ: アクト1】刈谷市制65周年記念公演の最新情報です!

公募による小学生から70代までの38人の市民の方々が、さる5月23日刈谷市社会教育センターホールにて演出家・川村ミチルさんと音楽家・橋本知久さんによる面接を受けました。当日に舞台の上で簡単な台詞と好きな歌を歌ってもらいました。個性あふれる方々が集まり、面接結果は全員出演決定でした。6月からオリエンテーション、ワークショップが始まりました。9月から本格的な舞台練習も!どんな作品に仕上がるのか?今からワクワクしています。【担当:井野】

市民目線の“キキミミ”文化

文化工房 カリヤ
カリチャー俱楽部
毎週水曜日
午後4時から
1時間放送

Pitch FMラジオ番組

Pitch FM 83.8

83.8MHz
文化工房 カリヤ

文化・芸術とアイリスを身近なものに。

文化工房 カリヤ

市民目線の文化発信、「みんなで文化、創造中。」

〒448-0858 愛知県刈谷市若松町2-104
TEL:0566-21-7430/FAX:0566-21-7440
mail:bunkakobo@kariya.hall-info.jp

Twitter : @B_K_kariya

Facebook : bunkakouboukariya

Blog : bkariya.wordpress.com



ご自由にお持ちください
FREE

市民目線の文化発信: カリヤンとカリジエンヌのための新しい“刈谷文化”を紡ぐ情報紙

BUN-KA Kariya Culture [ブンカ]

ナツ号
vol. 12
2015

緑のことみち。

産業のイメージが強い刈谷にも、まだまだ緑が多い場所も。光の差し込む緑の先に見えるものは…。



[特集]

刈谷市制65周年記念公演
文化工房かりや第5回企画公演

「刈谷魅力再発見」

今でも歌えますか?母校の校歌

[てくてくかりや]

水の館アクアルームかりや

[アールマルシェ]

ちょこっと裏話その3

[ぶんかのみ]

ピアニスト 近藤由貴氏

文化工房 カリヤ

今でも歌えますか？

母校の校歌

※校歌はスタッフの母校を3校のみ掲載

文化工房ガリヤ

刈谷市制65周年
記念公演



刈谷南中学校

作詞:異聖歌 作曲:平岡照章

歌は好きではないけれど、音楽の川澄先生の授業が印象的で忘れない。毎時間校歌を歌つたから今でも歌える。先生は指揮棒をもって教壇を叩いて「君たちの音楽は味噌くそ音楽だ。」と言うのが口癖。4分音符と8分音符の区別もつかなくて「ンタ、ンタ」と出だしを何度も歌った。南中の校歌は、シンコペーションで、1オクターブも上がるでのとても難しい。先生の風貌、指揮棒の使い方、「味噌くそ！」という言葉が今でも強烈な思い出。改めて歌詞を読んでみるとシンプルな中に郷土の風景があつていいなと思います。昨年制定60年を迎えた校歌はなんと！童謡「たきび」作詞者の異聖歌氏と「小鹿のバンビ」作曲者の平岡照章氏です。

[担当:野村]



富士松中学校

作詞:久野長松 作曲:永見貞三

中学時代は、1学期の音楽のテスト曲だったので、歌詞を味わうというより音程と歌詞を間違わずに歌うこと、伴奏することに一生懸命だったように記憶しています。

今、校歌を口ずさむと『大和ことば』がちりばめられ、心地いいなあ。当時の校舎や学校周辺の風景が走馬灯のように思い出され、機会があったら立ち寄ってみたいと思わせてくれます。

現在も、学校周辺には田畠が広がり、逢妻川や境川が流れています。開発はされつつも変わらない風景があること。そしていつの時代も変わらない希望に満ち溢れている学生を応援してくれているよい校歌だとあらためて思いました。 [担当:久保田]

「校歌2番」

永遠の流れの水澄める
古きをたずね新しき
希望かがやくわが富中
道にすすまん学舎に
文化の光求めんと
逢妻川のせせらぎに
逢妻川のせせらぎに
希望かがやくわが富中
道にすすまん学舎に
文化の光求めんと
古きをたずね新しき
希望かがやくわが富中
道にすすまん学舎に
文化の光求めんと
逢妻川のせせらぎに
逢妻川のせせらぎに

「校歌3番」

見よ遙かにぞ山を置き
海また近きここ刈谷
その自然美の刈南中
われらの中学校
新風常に我にあり
われらの中学校
新風常に我にあり

文化工房かりやでは、刈谷市制65周年記念公演に向けて「刈谷魅力再発見」をテーマにフィールドワークに取り組みました。今回その延長として「校歌」にスポットを当てて取材しました。校歌を歌うと子供の頃の懐かしい思い出がよみがえったり、歌詞に新たな発見があつたりするかもしれません。久しぶりに懐かしい校歌を口ずさんでみませんか？



小高原小学校

作詞:後藤善平 作曲:永見貞三

私が卒業したのは36年前になりますが校歌はずつと覚えていて今でも歌えます。刈谷市中部の情景をよく表した良い校歌だと思います。歌詞2番の冒頭にもあります「小高原」の校名は「小山、高津波、重原」の地名をとっています。場所が現在、原崎町にあるので「原崎」から取っていると思っている人も多い様です。同じ2番に「この意気ごみをそのままに」という歌詞があり「ごみをそのままに」と、掃除の時に友達とふざけて歌っていたのを覚えています。歌詞3番にある「無電の塔」は、当時よくわからず「無限の塔」と歌っていました。依佐美の鉄塔のことだったんですね。依佐美の鉄塔が「私のきみの夢を呼ぶ」って何か深い歌詞かなと感じました。[担当:丸木]

てくてくかりや

足で探したオススメの場所へ、是非！

一滴の水も地球の贈り物

てくてくかりや vol.3

水の館

アクアリームかりや

刈谷市西境町清水14番地1
電話:0566-36-5339
開館時間 午前10時~午後3時
休館日 土曜・日曜日、国民の祝・休日、年末年始(12月28日~翌1月4日)
(ご利用の際は、電話予約してください。)

「水はどこから?どんな仕組みで飲み水に?」で今回は刈谷市西境町にある施設へ、てくてく歩いてみました。

その施設は刈谷市水源浄水場です。昭和35年に誕生し、その間1日も休むことなく、境川と井戸の水をきれいに浄化して市内北部方面の市民の皆さんに、きれいで安心して飲んでいただけるよう水を供給続けています。また浄水場施設内には平成5年4月に完成した、水の館「アクアリームかりや」(浄水管

理事務所)があり、「見て、聞いて、触れて考え、楽しめる」を基本に体験を通じて、水道に関するいろいろな知識が学べるようになっています。

施設内の壁面を見上げた時に、「一滴の水も地球の贈り物」の文字が印象的でした。

「水」は私達の生活に欠かせない大切な資源、蛇口をひねれば安全できれいな水が出るって、有難いことですね。一度家族で見学し「水」について一緒に考えてみてはいかがでしょうか。 [担当:磯部]



刈谷市総合文化センター アトリウムイベント
artMarché アールマルシェ
芸術市場

ちょこっと裏話その3

ドキドキ☆アンケート

イベントを開催すると「どんな方がいらっしゃったのだろう」「今日の公演は楽しんでいただけたかな」と、いろいろ気になります。アールマルシェでは毎回ご来場者にアンケートをお願いし、多くの方にご協力いただいています。改善点・提案事項、激励、来場に際してのちょっとしたエピソードやご感想、それから手厳しいご意見などたくさん書いてくださっていて嬉しい限りです。アンケートの集計結果は文化工房かりやの全員と出演者に報告しています。そう、出演者にも!手厳しいご意見がある場合は心臓がバクバクします。けれど、内容そのままお渡します。客観的なご意見は貴重で重要なものです。真摯に受け止め、すぐ次の公演に反映させていた出演者もいらっしゃいました。出演者にとってアールマルシェは「飾らない意見」を聞く機会でもありますので、上手く使っていただけたらと思います。

そんなわけで、アンケートには本音をどしどしつけてください!ドキドキしながら、お待ちしています。[担当:柴田(奈)]



公演スケジュール

№18 7月18日(土) 13:00~14:00

『大地のゆりかご 新星の煌き』

出演者 陽影月(ヒカゲツ)<津軽三味線&キーボード>

オカリナーモあんみつ<オカリナアンサンブル>

№19 9月19日(土) 13:00~14:00

出演者 グリーンハープス<ヴィオリナアンサンブル>

みよしゴスペルクワイア<ゴスペル>

※公演内容の詳細や公演の様子は

ホームページ、SNSをご覧ください。